

高齢者や乳幼児、病気や障がいがある人、妊産婦、日本語が理解できない外国人など、災害が発生した時に特に配慮を要する人を「**要配慮者**」といい、そのうち、災害時に自ら避難することが困難で、避難行動の際に支援が必要な人を「**避難行動要支援者**」といいます。町では、避難行動要支援者を把握するため、「**避難行動要支援者名簿**」を作成します。また、災害時に迅速かつ適切に避難を行うため、地域の人たちと福祉関係者、行政などが連携し、避難行動要支援者一人ひとりを対象とした「**個別避難計画**」の作成を進めています。

避難行動要支援者名簿に掲載する対象者

- (ア) 介護保険の要支援1・2及び要介護1から5の者
  - (イ) 身体障害者手帳1級又は2級保持者。ただし、聴覚または平衡機能障がい者及び視覚障がい者は3級まで対象とする。
  - (ウ) 精神障害者保健福祉手帳保持者
  - (エ) 療育手帳保持者
  - (オ) その他、災害時において配慮を必要と認められる者（難病患者等）
- ※ただし、避難行動要支援者の要件を満たさない場合でも、以下のケースにより避難行動要支援者として掲載を求めることができる。
- ①避難支援等関係者の判断により、避難行動要支援者として避難行動要支援者名簿への掲載を町に求めた場合
  - ②形式要件から漏れた者が自らの命を主体的に守るため、自ら避難行動要支援者名簿への掲載を町に求めた場合

避難行動要支援者

高齢者・寝たきりの方	肢体が不自由な方
<p><b>日頃の備え</b> 室内はできるだけ広くし、高いところに重い物などを置かない。</p> <p><b>災害時には</b> あわてて外に飛び出さない。余震に備えて、家の中の安全な場所に移動する。</p> <p><b>支援者の方へ</b> 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。複数の支援者で対応する。不安を取り除くように声をかける。</p> 	<p><b>日頃の備え</b> 室内の安全スペースの確保と家具等の転倒防止対策を十分にします。</p> <p><b>災害時には</b> 車いすは安全な場所に止め、支援者の協力を求める。</p> <p><b>支援者の方へ</b> 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。支援者が1人の場合は、おぶりひも等を用意し、おぶって避難する。</p> 
耳が不自由な方	知的障害のある方
<p><b>日頃の備え</b> 日常から筆記用具を携帯しておく。</p> <p><b>災害時には</b> メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。</p> <p><b>支援者の方へ</b> 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。</p> 	<p><b>日頃の備え</b> 災害時の行動を日頃から繰り返し話して聞かせ、外での危険な場所も教えておく。</p> <p><b>災害時には</b> 家族や近所の人と行動する。</p> <p><b>支援者の方へ</b> あわてないように優しい声で指示を出すか、手を取って安全な行動を促す。</p> 
目が不自由な方	内部障害のある方
<p><b>日頃の備え</b> 白杖は手の届くところに置いておく。家具等の配置変更は本人に必ず伝える。</p> <p><b>災害時には</b> 災害発生時には笛などを吹き、居場所を知らせる。</p> <p><b>支援者の方へ</b> 災害時には、声をかけ情報を伝える。誘導する場合は、杖を持った方の中には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくりと歩く。</p> 	<p><b>日頃の備え</b> 通院が不可能になった場合に備え、主治医やかかりつけの医療機関に相談する。</p> <p><b>災害時には</b> かかりつけの医療機関の状況を確認する。差し迫った治療がある場合は、医療機関か防災関係機関に相談する。</p> <p><b>支援者の方へ</b> かかりつけの医療機関をはじめ、病院や救護所などの情報収集の手助けをする。</p> 

各家庭で非常持出品を準備しておきましょう。

食料や水は一人あたり3日分用意しましょう。

■まずは**非常持出品**から。ついで、カバンに**携帯**するもの、**自宅に備蓄**するものを揃えましょう。



■チェックリスト(例)

分類	品 目	メ モ	確 認
バッグ	非常持出袋	軽くて丈夫なものを。	<input type="checkbox"/>
水	飲料水	携帯：500ml、持出：1人2.5L程度。	<input type="checkbox"/>
食	携帯食	キャンディー、栄養補給・調整食品など。	<input type="checkbox"/>
	非常食	乾パンなど、水・調理なしでそのまま食べられるもの。	<input type="checkbox"/>
装備・道具	ヘルメット・防災ずきん・帽子など	頭を保護して逃げるため。持出袋と一緒に置いておく。	<input type="checkbox"/>
	ホイッスル	閉じ込められた際の生存率が上がる。叫ぶより大音量。	<input type="checkbox"/>
	手袋（作業用）	丈夫な素材のものを。防寒用にもなる。	<input type="checkbox"/>
	運動靴・スリッパ	避難するときには、ひもで締められる運動靴を。避難場所ではスリッパがあると便利。	<input type="checkbox"/>
	ヘッドライト、懐中電灯（予備電池）	できれば小型のLEDライトを、1人に1つ。	<input type="checkbox"/>
	万能ナイフ類	ハサミ、ナイフ、缶切りなどの複合ツールが便利。	<input type="checkbox"/>
情報	携帯ラジオ（予備電池も）	手回し充電に対応したラジオが便利。単一乾電池2本（防災無線戸別受信機用）	<input type="checkbox"/>
	携帯電話（充電器・バッテリー）	電池で使える簡易充電器なども用意。	<input type="checkbox"/>
	連絡メモ・備えリスト	頼れる親類縁者友人知人の住所・連絡先等。	<input type="checkbox"/>
	身分証明書（そのコピー）	健康保険証、運転免許証、パスポート、外国人登録証など。	<input type="checkbox"/>
	筆記用具（メモ帳とペン）	安否メッセージを書く、連絡先メモなど用途は様々。	<input type="checkbox"/>
	硬貨	公衆電話、自販機用に10円玉、100円玉を用意。	<input type="checkbox"/>
救急・衛生	救急用品セット	消毒薬、脱脂綿、ガーゼ、絆創膏、包帯、三角巾、爪切り、毛抜き、体温計など。	<input type="checkbox"/>
	持病薬・常備薬・お薬手帳	処方箋のコピーも併せて準備。	<input type="checkbox"/>
	衛生用品	マスク、ティッシュ、トイレトペーパー、ハブラシ、ウエットティッシュ、生理用品（おりものシート）	<input type="checkbox"/>
	携帯トイレ	非常時において、トイレに行けないことはかなり深刻。	<input type="checkbox"/>
	着替え一式		<input type="checkbox"/>
	耳栓	避難場所などに入り、集団生活を送る場合には必須。	<input type="checkbox"/>
防寒	使い捨てカイロ		<input type="checkbox"/>
	アルミマット・寝袋		<input type="checkbox"/>
汎	タオル	汚れの拭き取り、ケガの手当て、下着の代用等、汎用度高。	<input type="checkbox"/>
	ポリ袋・ラップ	小サイズは食器にかぶせて、中サイズは長靴に、大サイズは被って雨具にと汎用度高。	<input type="checkbox"/>
用	レジャーシート・ブルーシート	敷物としてはもちろん、ロープで張って雨よけ、日よけにも。	<input type="checkbox"/>
	ライター（マッチでも）	暖房器具の点火などに。マッチよりも使い勝手がよい。	<input type="checkbox"/>
	布ガムテープ	仮止め、各種応急処置、屋外に貼る伝言メモ等汎用度高。	<input type="checkbox"/>
	ハザードマップ		<input type="checkbox"/>

■非常持出品を揃える心がけ

- 食料や日用品を買い置きし、消費した分を買い足すことで一定量の備蓄を保つという方法（ローリングストック）をとりましょう。
- 水や食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限をチェックしましょう。
- 家族構成を考えて揃えましょう。  
赤ちゃんのいる家庭：ミルク・ほ乳瓶・おむつ  
高齢者のいる家庭：入れ歯・服用薬・補聴器・杖

